

平成6年度国際通信研究奨励金の募集要領

1. 目的

国際電気通信に関係する工学的または社会科学的な基礎研究および応用的調査、研究を行なう KDD 社外の個人または団体に奨励金を贈呈し、その調査、研究を奨励推進することを目的としております。

2. 調査研究計画

調査研究計画は独創的な内容であって、その成果が国際電気通信の将来の発展に寄与すると考えられるものを対象とします。

3. 奨励金の額

本年度は総額2,500万円程度で、これを10件程度の調査、研究計画に対して贈呈する予定であります。

4. お申し込みの方法

所定の用紙「国際通信研究奨励金交付申請書」にご記入のうえ、平成6年7月13日（水）までに到着するようお送り下さい。（当日消印有効）

なお、推薦者につきましては、機関の長またはそれに相当する方をお願いいたします。

5. 選考

当財団の選考委員会において選考のうえ、理事長が決定いたします。

6. 通知

申請された方に対して、選考結果を11月中旬に通知します。

7. 奨励金の贈呈

平成7年3月下旬を予定。

8. 奨励金の使途

当該調査、研究計画を達成するために必要な費用に使用していただきます。

9. 成果の報告

奨励金の受領者は調査、研究の完了後にその成果を「研究報告書」として当財団に提出していただきます。

(注) 所定の用紙については日本気象学会事務局に照会して下さい。

(送付先)

〒153 東京都目黒区中目黒2丁目1番23号
財団法人 KDD エンジニアリング・
アンド・コンサルティング
TEL 東京(03)3794-8203

編集後記：私も編集委員になってやっと1年がたちました。まだ見習いといったところですが、一応「NEWS」改め「気候情報」のコーナーを担当しています。このコーナーは以前は月平均500 hPa 天気図と世界の天候の記事しか載ってないことがほとんどでしたが、最近の時代の流れも考慮して、エルニーニョやオゾンなど気候関連の資料なども載せていくことにしました。

今年の春季大会の予稿集を見ても、気候モデルや数十年スケールの変動、オゾンなどの分野のセッションが独立したスケジュールになっていて、気候変動関連

の問題への関心がまだまだ高いことがうかがわれます。

ほかに、500 hPa 天気図についても新しい形にするなり、他の種類の天気図を加えるなりしてはどうかとも考えていますが、北半球500 hPa 天気図は根強い利用者の方もいらっしゃるので、あまり大きく変えてしまうのもいけないかなと思います。

皆さんのご意見を編集委員までお寄せ下さい。気象学会のパソコン通信ネットもありますので、こちらへ書き込んでいただいてもいいですね。

(磯部 英彦)